

平成28年度 第1回 石巻南浜津波復興祈念公園有識者委員会の概要

【平成28年度 第2回 石巻南浜津波復興祈念公園有識者委員会 資料】

平成29年3月14日

○平成28年度 第1回 石巻南浜津波復興祈念公園有識者委員会

【開催日時】 平成28年9月7日(水) 13:00～15:00

【会場】 三陸河北新報社かほくホール

- 【議事】
- 1)平成27年度 第2回有識者委員会の概要について
 - 2)石巻南浜津波復興祈念公園基本設計について
 - 3)検討方針(案)について
 - 4)市民活動拠点について
 - 5)試験植栽経過について
 - 6)復興祈念公園と観光に関する懇談会の概要について
 - 7)石巻市における震災伝承及び震災遺構に関する検討状況について

○委員名簿

委員長	涌井 史郎 (東京都市大学環境学部教授)	
副委員長	森山 雅幸 (宮城大学特任教授)	
委員	牛尾 陽子 (公益財団法人東北活性化研究センターフェロー)	
委員	岸井 隆幸 (日本大学理工学部教授)	欠席
委員	中静 透 (東北大学大学院生命科学研究科教授)	欠席
委員	舟引 敏明 (宮城大学事業構想学部教授)	欠席
委員	亀山 紘 (石巻市長)	
委員	遠藤 信哉 (宮城県土木部長)	
	(代理 土木部次長 櫻井 雅之)	

※敬称略



第1回有識者委員会の様子

■ 検討方針(案)について

○【牛尾委員】

地域として復興祈念公園も含めて、建築の規制やデザインの統一性など、トータル景観について気を使っていくべきで、関係者の連携が望まれる。

○【森山副委員長】

東北の風土、石巻の風土、地域の暮らしや文化など、全てを含む地域らしさを景観に込めて、そこから外れないように検討を進めてほしい。

○【涌井委員長】

この公園は、片方では追悼し、片方では未来に伝えていくという個性をしっかりと強調していくために、維持管理のあり方が非常に重要である。

○【亀山委員】

石巻だけではなく、宮城県の追悼・祈念公園として、宮城県全体の津波の伝承をどうするか、ハードとソフト双方からのあり方の議論が必要である。

○【涌井委員長】

デザインを明示するだけでなく、公園からこういう切り口でこういう物語を伝えていくという、シナリオの検討も必要である。

○【櫻井委員代理】

施工中も伝承機能が発信できるようにすること、地域で企画される追悼・祈念行事の受入やサポート、公園外からのサインシステムの検討などを必要である。

○【森山副委員長】

旧門脇小学校は、公園から見られるだけでなく、近くまで行って・見て・感じられる関係づくりが、この公園の伝承の機能で大切なことだと思う。

■ 市民活動拠点について

○【牛尾委員】

今後、多様な工事が行われると思うが、公園整備が完了するまで、活動場所やここから発信される機能が継続できるよう配慮してほしい。

○【涌井委員長】

工事では土中に埋蔵されている生活の記憶が見つかると思うので、こうした記憶を紡いでいくことにも留意してほしい。

■ 植栽計画について

○【涌井委員長】

試掘池では、水位・水質・水温など、将来的な公園の環境が予測できる基礎的なデータをしっかり集めてほしい。